

脳卒中て入院された患者様へ

「脳卒中後の意欲・自発性低下に使用される薬剤の研究について」

2021/3/5

研究機関：小松市民病院 薬剤科

研究責任者：小松市民病院 薬剤科 石田 外樹

研究分担者：小松市民病院 薬剤科 西田 知世

□ 内容

はじめに

脳卒中後の意欲低下はリハビリテーションに影響し、日常生活動作(ADL)の低下に繋がります。脳卒中後の意欲・自発性低下に対して内服薬のアマンタジンを使用することがありますが、脳卒中後の ADL を改善したという報告はないため、アマンタジンが脳卒中後の ADL 改善に効果があるか研究を行います。

目的

アマンタジンが脳卒中後の ADL 低下に対して効果があるか検討します。

方法

当院では脳卒中を発症された患者さんに対し、地域の医療機関や介護サービス事業者との診療情報を共有するために「加賀脳卒中地域連携パス」を導入しております。電子カルテ内に保存されている加賀脳卒中連携パスを使用して本研究を行います。

対象者

当院脳神経外科に入院し、2015/4/1～2020/3/31 における加賀脳卒中連携パスを利用された方を対象とします。

期間

この研究の期間は当院倫理委員会の承認日から 5 年間 (2026/3/5) を予定しています。

説明と同意について

当院電子カルテからの情報収集になります。そのため患者さんに直接的なリスクや不利益は無いため、患者さんへの説明及び同意書を取ることはありません。

研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方がご了承頂けない場合は、研究対象とはしませんのでご連絡ください。

個人情報の保護について

患者さん個人が特定されないように、患者さんの名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。患者さんの名前に対応する番号を付けた一覧表はインターネットの接続ができない端末でパスワードを用いて管理します。

研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

問い合わせ

この研究に関して問い合わせがありましたら、下記の担当者におたずね下さい。担当者から説明いたします。

連絡先

窓口：小松市民病院 薬剤科

住所：923-0865 石川県小松市向本折町ホ 60

電話番号：0761-22-7111（代表）

担当者：西田 知世